

週刊センターニュース No.189



第189号(2008年1月7日)毎週月曜日発行
発行：金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL：http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

第172回共同学習会のご案内

日時：2008年1月17日(木)14:45～16:15

場所：金沢大学角間キャンパス総合教育棟2階大会議室

テーマ：来年度からの初年次環境教育、安全衛生教育について(第2回)

報告者：西山宣昭(大学教育開発・支援センター) 他

趣旨：昨年12月4日開催の第166回共同学習会において、来年度の大学・社会生活論(環境教育)の授業案、さらに安全衛生教育の在り方について議論した。今回も引き続き意見交換を行い、環境教育の授業案については結論を得る予定である。環境教育、安全衛生教育を正課外においていかに行うかについても議論したい。多くの教員のご参加、ご意見を願いたい。

センターニュース189号でお知らせ致しました、1月10日(木)の共同学習会「GPA制度の運用と課題 FD研究・実践開発シリーズ第6回」(報告者：渡辺 達雄、大学教育開発・支援センター)は、担当者の都合により、延期とさせていただきます。新たな開催日時は、1月24日(木)16:30-18:00(場所：総合教育棟2階大会議室)です。宜しくお願い致します。

FD法的義務化元年における本学の教育改革

明けましておめでとうございます。FD(教育内容・方法の改善のための研修・研究)の法的義務付けの中、本学は教育組織の大改革という節目の年となりました。当センターは、全学FD・各部局FDを開発・支援することにより、本学の教育改善に向けて全力を尽くしてまいります。

さて、最近届いた、高等教育研究誌に次のような指摘を見つけました。長くなりますが引用します。

「入学者選抜の改善に関わって取り組むべき課題・・・大学入学者選抜の大括り化である。高校と大学の接続を考えると常に問題になるのはその間口の狭さである。高校教育の多様化は本来、高校進学者の変化に依拠した対応であったはずだが、現実には大学の選抜単位が高校教育の細分化に大きな影響をもたらした。しかも、高校で類・コース分けは以前よりも早期化が進み、遅くとも高校一年次の後期には類・コースが決まり、その後の変更もままならない。このことが生徒の不本意学習、あるいは大学への不本意入学を誘発する原因ともなる。学力の不揃いの背景にもなっている。

入学者選抜の大括り化は、大学入学後に各種の学部、専攻内容をしっかりと見極めて自分の進路を見極めさせる余裕を与え、また同時に大学の初年次教育、教養教育を見直す絶好の機会を与えるものである。学術、社会の世界では文系、理系をこえた融合化は当然のことになってきた。いつまでも入学者選抜の間口を狭くしぼり、学生たちの可能性を狭めることはできない」(荒井克弘(東北大学副学長)、『骨太方針』と入学者選抜、『IDE』496号、2007年12月)。

東京大学が初年次教育プログラム実施と入試改革に乗り出す時代です。入学から卒業までの学生の学習成果によって教育効果を確かめることが、全ての高等教育機関に求められており、本学が試みる

大括りの入試と経過選択型カリキュラムの導入は、多くの大学の注目するところとなっています。当センターはこの間、日常的 FD としての共同学習会等を通じて、こうしたカリキュラム開発に主体的に関わってきました。後に「教育重視の研究大学」としての着実な一歩であったと振り返ることができるよう、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いします。

(文責：大学教育開発・支援センター長 青野 透)

第5回大学教育セミナー開催のお知らせ

学生支援力の向上が教育効果を高めるための前提条件であることはすでに共通認識となっています。今回の全学 FD では、他大学の事例も踏まえ、効果的な学生支援について考えます。多くの教職員・学生の方々のご参加を期待します。

主催 金沢大学大学教育開発・支援センター

日時 2008年2月3日(日)(13時受付開始)13時30分～17時40分

場所 金沢大学サテライト・プラザ(金沢市西町教育研修館内)

テーマ 学生支援をどう評価するか - 今、大学教育に問われているもの -

開会挨拶 鹿野 勝彦(教育担当理事)

趣旨説明 堀井 祐介(大学教育開発・支援センター准教授)

第一部 講演 13時40分～15時20分

講演1 河田 悌一(関西大学学長)

「学生支援はどうあるべきか - 関西大学現代 GP の事例を踏まえて - 」(仮題)

講演2 藤川 麗 (駒沢女子大学専任講師、カウンセラー)

「学生相談の ” 成果 ” を捉え直す - コラボレーションによる評価の可能性 - 」

第二部 シンポジウム 15時30分～17時30分

報告1 青野 透(大学教育開発・支援センター教授) 「学生支援と認証評価」

報告2 吉川 弘明(保健管理センター教授) 「金沢大学の学生支援 GP について」

指定発言 小島 佐恵子 (北里大学高等教育開発センター専任講師)

討論

閉会挨拶 早田 幸政(大学教育開発・支援センター教授)

終了後 情報交換会(18時30分～20時)金沢スカイホテル(武蔵が辻交差点近く)

参加申し込み 当日の参加も歓迎しますが、準備の都合もあり、可能な限り以下の要領での申し込みをお願いします。

(1) 必要記入項目：氏名、所属、連絡先、情報交換会参加の有無

(2) 参加費：無料。なお、情報交換会費3000円は当日セミナー受付にていただきます。

(3) 事前申し込み締め切り：2008年1月21日(月)

申し込み先 info-rche@ge.kanazawa-u.ac.jp または FAX 076-234-4172

「FD 開発・実践開発シリーズ」について

当センターでは、平成20年度からの FD 義務化に備え、FD 開発・実践開発シリーズとして共同学習会を開催しております。FD って何? 何のために? という素朴な議論にも具体的に答えるシリーズです。是非ご参加ください。また、ご希望のテーマがありましたら、遠慮なく、お申し出ください。可能な限り、ご希望に即した企画を試みます。